

平成 25 年度事業方針

テーマ「長久手市民らしさの開花」

(1) 市民との協働事業（事業係＋管理係）

- ・住民参画交流事業：ワークショップ、アイデンカフェの立ち上げ

文化の家は、誰のために、なぜ存在するか？

「市民目線」でモノづくりをする新しいミッションを行います。市民と直接対話を重ね、文化の家の役割や理解を深め、まちづくりへ生かしていきます。

(2) 長久手応援ソング普及

長久手市民としてのアイデンティティを促します。

(3) 広報セクション立ち上げ（事業係＋管理係）

- ・ホームページのリニューアルと更新の充実
- ・ブログ、ツイッター、フェイスブックの運営
- ・情報発信のコンサルティング
- ・役所、教育委員会、議会、自治会、学校等への継続的な情報提供やモニター

これまで強化を求められてきた広報面を革新します。

(4) 学校との連携強化

- ・であーと（小・中）、おいであーと（保育）、小学校招待公演（新規）、小学校巡回指導、第 10 回吹奏楽フェス（中・高・大・一般）

教育委員会に所属する文化の家の学校連携事業では、子どもたちと地元アーティストの深い交流を継続しています。

(5) 目玉事業

- ・6/30 開館 15 周年記念 coba 《“食”と音楽のコラボ》with 落合シェフ
- ・9/4 二兎社「兄帰る」（永井愛／岸田戯曲賞作品）
- ・11/1 トムプロジェクト「あとは野となれ山となれ」（竹下景子主演）
- ・11/8 館野泉（ピアノ）「左手の音楽祭」ラ・テンペスタ室内オーケストラ（新作披露）
- ・2/9 名演シリーズ「フライブルク・バロック・オーケストラ」ブランデンブルク全曲

知名度やクオリティを保証し、全国及び世界規模で活躍するアーティストの公演を行います。市民にも親しみやすく、同時に文化の家あるいは長久手市のブランディングにつながる内容です。